

高滝ダムの堆砂対策

3基目の貯砂ダム建設へ

6月定例県議会一般質問



登壇し、県執行部に質問する伊豆倉雄大議

スポーツで培つた情熱を傾け、ふるさと市原市の発展に全力を挙げている伊豆倉雄太県議は6月定期県議会で登壇し、高滝ダムの堆砂対策、圈央道周辺への企業誘致、有害鳥獣対策などについて、県の施策を聞きました。水道用水や農業用水の供給、洪水調節などの重要な役目を果たしている高滝ダムですが、貯水池の湖底への堆砂が問題になっています。改善のための新たな貯砂ダム建設について質問した伊豆倉県議は、併せて堆砂対策の予算確保を要望しました。伊豆倉県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

ついでいわれた高滝ダム湖が現在は大規模に堆砂がある誰が見てもこの堆砂の量は驚かれると思う。防災、治水利水の観点からも、この高滝湖の堆砂は私たちの代でしつかりと改善していくしかなければならない。

現在は緊急浚渫推進事業債を利用し、今までにならない予算規模で浚渫工事をしているが、流入する土砂は横ばいにならざる。

ダム湖の健全な機能を保持するためにも、貯砂ダムの増設の必要性を訴えてき

では、貯水池内へ流入する土砂の抑制を図るため、ダム上流部において、土砂を捕捉する貯砂ダムを2基設置しており、更に、緊急浚渫推進事業債を活用し、堆積土砂の撤去に取り組んでいます。

しかしながら、当初の想定以上に土砂の流入が多く、貯水池内の堆砂が進んでいることから、異なる堆砂対策を令和3年度に検討し、対策効果、経済性、維持管理などを勘案して、新たに

要望 伊豆倉議員 今後
6年度で国への緊急浚渫推進事業債が期限を迎える。この緊急浚渫推進事業債は非常にいい事業であり、期限が来ても引き継ぎを行われるよう国に要望するともに、緊急浚渫推進事業債がなくなつても、継続して堆砂の除去及び流入堆砂の削減ができるよう十分な予算確保を強く要望する。

たが、検討状況はどうか。

貯砂ダムを、其計画通りに
としました。

圏央道周辺への企業誘致を

圏央道周辺への企業誘致を 迫る全面開通

迫る全面開通

いすくら雄太・PROFILE

■ 路歷 ■

- ・昭和58年生まれ
 - ・平成11年 市原市立加茂中学校卒業
(野球部在籍・キャブテン)
 - ・平成14年 私立志学館高等部卒業
(ラグビー部在籍・キャブテン)
 - ・平成18年 東洋大学法学部卒業
 - ・平成27年 県議会議員初当選

■ 所属団体 ■

- ・市原市消防団
 - ・一般社団法人市原青年会議所

●お近くにお越しの際はお気軽にお立ち寄りください

いすくら雄太 県議事務所 〒290-0081 市原市五井中央西2-11-5
TEL. 0436-37-1777 FAX. 0436-37-1331

ハクビシン・アライグマの被害増加

伊豆倉議員 都市部でもハクビシンやアライグマの被害が増えてきている。野生の獣が持つ病気、家屋被害、アライグマは大人の指もかみ切るほどの凶暴性を持ち合わせている。いるのが分かっていても、狩猟免許を持っていても、捕獲を申請して許可が下りるのに時間がかかるとの話だ。被害宅の方からすればすぐに駆除してもらいたいと思うが、ここにも課題があると思う。

そこでいかがうが、アライグマやハクビシン等の捕獲許可が迅速に行われるよう、どのように取り組んでいるのか。環境生活部長、アライグマ等の有害鳥獣は、糞便による悪臭や建築物の破損な

ど、様々な悪影響を及ぼしており、県では、県民や事業者等から捕獲に係る申請があつた場合、速やかに捕獲する区域が法令上禁止された区域に該当しないか、捕獲の方法が基準に適合するか、などを確認し、許可を行っています。

なお、被害にあった県民が事業者に捕獲を依頼する場合は、事業者が県に申請するまでの時間が別途必要になることから、今後、事業者に対し、速やかに申請を行っていただくよう、県ホームページや関係団体等を



議場の主席で質問を行う伊豆倉議員

迅速な捕獲許可を

通じて呼びかけてまいります。

伊豆倉議員 特定外来生物であるアライグマについても、県は、農地のほか都市部の家屋にも出没するため、地

再質問

による捕獲ができないか。

環境生活部長 アライグマは、農地のほか都市部の市町村等に周知してまい

域の実情に詳しい市町村が

捕獲を実施しており、県では、

市町村に捕獲用のわなの貸

し出し等を行っています。

また、今年度からは、新

たにモデル地区を2市選定

し、生息状況の調査や、効

果的な捕獲時期やわな設

置場所等についての検証を

行うこととしており、それ

によつて得られた知見を他

の市町村等に周知してまい

ます。

伊豆倉議員 野生鳥獣の防護柵整備総延長40000㍍に

あります。

域の被害実態を踏まえた柵の効果が上がるよう、県はどのように取り組んでいますか。

伊豆倉議員 野生鳥獣の防護柵設置は、これまでに合

わせて約4000㍍が整

備されたところです。

防護柵の効果を上げるには、柵の適切な保全管理を行つとともに、有害獣の侵

犯を防ぐことが重要です。

伊豆倉議員 野生鳥獣の防護柵設置は、これまでに合

わせて約4000㍍が整

備されたところです。

防護柵の効果を上げるには、柵の